



日本のサイドイベント **Women Must Be at the Table:
A Simple Suggestion to Improve
Meaningful Access to Justice for All Women** について
概要と自身がパネリストとして
発言した主旨と内容を中心に

宮下摩維子
(東京支部)

日本のサイドイベント

Women Must Be at the Table: A Simple Suggestion to Improve Meaningful Access to Justice for All Women

- ①国際連合日本政府代表部 御巫特命全権大使より開会の挨拶
- ②紙谷雅子氏による司法へのアクセスとジェンダーの提言
- ③報告者（宮下）による養育費の視点からみる司法へのアクセス
- ④竹村仁美氏による国際刑事裁判所における紛争後の性的暴力訴追
- ⑤Belgrade Okwiry氏によるケニアにおける女性の司法へのアクセス

報告タイトル：養育費政策から見た司法へのアクセス： —日本における実効力ある執行制度の再考—

司法へのアクセスとは、何を意味するのか？

UNDP (国連開発計画) の定義:

国家及び国際的なレベルでの法の支配を促進し、全ての人々に正式・非正式を問わず、司法への平等なアクセスを提供し法的な救済を得られるようにすること

→GOAL 16 平和と公正をすべての人にのひとつ

→司法へのアクセス≠訴訟の提起

= 実現可能な執行制度を含む法的な救済

日本国憲法32条

「何人も、裁判所において裁判を受ける権利を奪はれない。」

→訴訟を受けられるだけでは十分ではないのでは？

・日本における子どもの貧困率は？

厚生労働省の2021年の調査によると…

貧困状態にある子ども全体：11.5%

ひとり親家庭の貧困状態にある子ども：44.5%

・この理由は？

理由は多岐にわたるが、その一つとして未払い養育費の問題

→厚生労働省

『2021年日本のひとり親家庭に関する調査報告書』

→適切に支払われているのはわずか28.1%

日本では未払いの養育費を回収する効果的な手段がない

司法へのアクセスの阻害要因：

- ・費用

→手数料、訴訟費用、弁護士費用など

- ・訴訟の遅延

- ・司法インフラの不足→かつてのゼロワン地域など

- ・文化や言語の壁

- ・地理的要因

- ・心理的障壁

→特にDVやハラスメント事案においては、多くの女性が精神的ストレスを感じたり、元配偶者との対立を恐れたりする。

→権利を行使することを諦めてしまう。

- すべての法的権利は同等に扱われるべきだろうか？
 - 通常の商事債務と養育費との違い
 - 養育費の支払い：少額かつ長期にわたる
 - = 法的措置を講じることは、経済的に合理的・実現的ではない場合も。
- 通常の私的債務とは異なるのではないか？
 - 子どもの福祉とウェルビーイングに密接に関連
 - = 強い社会的側面がある

日本の法整備の近時の状況

1) 2020年の民事執行法改正

→新たな資産開示手続が導入

→債権者は、第三者（銀行や税務署など）を通じて、債務者の情報を取得できるように

→債務者の情報の取得が容易になった。

2) 2026年の日本民法改正

→① 離婚後の共同親権

② 養育費の支払いの強制執行

養育費の支払い確保に向けた法改正（2026年4月1日）

旧法

養育費の支払いを求めるには、「債務名義」と呼ばれる特定の法的文書（裁判所の判決や和解調書など）が必要だった。

新法

- ・ 養育費が、一般先取特権に。
 - 養育費に関する書面による合意があれば、相手方の財産の差押えが可能に。
 - ハードルが低く！
- ・ 法定養育費の定め
 - = 養育費について両親が合意できない場合でも20,000円（≒ 125ドル）は強制執行できるように。

・司法へのアクセスを実現したというためには、権利の実現の最終段階（＝実効的な執行制度の整備）も含まれる。

→現在の日本の司法制度では不十分

比較法の対象として・・・

米国の養育費強制執行・親子関係（父子関係）確定プログラム

→米国では、養育費の執行は社会福祉の一部とされている。

・日本においても、司法制度と行政機関の双方が、養育費問題の解決においてより積極的な役割を果たすべきではないか。

第1回目の政府ブリーフィングへの参加について

- ・ 大崎麻子日本代表から現状報告のあと、ディスカッション
- ・ Legal Aid（司法扶助）と被害者支援
- ・ 警察へのジェンダー教育
- ・ 各国の司法へのアクセスの現状
 - *ラテンアメリカ：ジェンダー暴力・フェミサイド
 - *アフリカ：アクセス格差・家父長制・地理的な格差
 - *アジア：ジェンダーステレオタイプが障壁に
- ・ 種々の反省点もあり、今後に生かしたい。



ご清聴ありがとうございました。